

## 第10回 議会報告会

平成26年10月17日から11月5日、市内4会場（子育て支援センターほたるスマイルランド「おひさま」、阿賀野市福祉会館、沖通ふれあいセンター、水原商工会館）で開催しました。

各会場で市民の皆さまからいただきましたご意見・ご要望について、執行部から回答を求めましたのでご報告します。

### ご意見（行政への要望）に対する執行部からの回答

件名	① 保育園の入所について	子育て支援センター ほたるスマイルランド「おひさま」
<p>保育園への入園については、「保育に欠ける」という要件が必要になります。これは、児童福祉法第24条、第39条第2項および児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令で、その要件が定められています。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 居宅外で労働することを常態としていること。</li><li>② 居宅内で日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。</li><li>③ 妊娠中であるか又は出産後間がないこと。</li><li>④ 疾病若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障がいを持っていること。</li></ol> <p>等と定められており、要望事案を見る限りにおいては、保護者の一方が2人の子育て中であり、上記①若しくは②に該当しないものと推察されます。</p> <p>これらの要件は、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度においても継承され、より詳細に定められることになっています。</p> <p>仮に、上のお子さんが3歳以上児であれば、「保育に欠ける」という要件の必要のない、幼稚園への入園ということも選択肢として考えられますので、ご一考いただければと思います。</p> <p>また、12月1日現在の入園数については、3歳未満児が453人、3歳以上児が742人となっており、3歳未満児の割合が38%にもなっています。</p> <p>これに対応する保育士数は、3歳未満児で120人、3歳以上児で30人程度必要であり、保育士不足が常態化している中であって、より多くの保育士を必要とする未満児については、配置基準を満たすことが困難なことから、対応できない園があることも事実です。</p> <p>育児休業等の取得により、家庭において保育できる環境があるのであれば、家庭保育を行っていただくことと併せ、真に「保育に欠ける」要件に該当する方については、入園できるよう取り組んで参りたいと考えております。</p>		
担当 民生部 社会福祉課 児童福祉係 (内線240)		

件名	② グループホームの設置について	阿賀野市手をつなぐ育成会
<p>平成25年4月1日に市内で初めてのグループホームが、定員8名で開所しました。</p> <p>開所と同時に満床になるのではと予想していましたが、現在は6名の利用にとどまっている状況です。</p> <p>利用されている方はすべて男性の方で、平均年齢が51歳となっており、日中は、皆さん働く場（事業所・福祉サービス提供事業所）に通っておられます。</p> <p>現在、体験利用を経てから、本利用を考えておられる方が数名いらっしゃいますので、春までに満室となる見込となってきました。</p> <p>また、市外・県外のグループホームを利用されている方は、男性6名、女性8名となっており、市内にグループホームがなく、市外等での利用となっているケースが大半です。</p> <p>今後、グループホーム利用を希望される方が、増えてくることは十分理解しているところであります。</p> <p>市におきましても、ご本人・ご家族の意思を十分把握しながら、グループホーム運営事業所等とも、建設に向けて検討して参りたいと考えています。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 民生部 社会福祉課 障害福祉係 (内線244)</p>		

件名	③ 新病院への精神科の設置について	阿賀野市手をつなぐ育成会
<p>新病院につきましては、「新病院整備基本計画」に基づき16診療科を維持し、市民の皆様安心してご利用していただくため、医療体制の充実に努めているところです。</p> <p>よって、精神科につきましては、計画しておりませんので設備等も整備していないのが現状です。</p> <p>今後、市民のニーズ等を把握しながら、心療内科の設置が可能かどうか厚生連の意向も確認しながら、検討して参りたいと考えております。</p> <p>しかしながら、県内の医師不足は深刻で、精神科におきましては、県内の精神科の中核である長岡市の県立精神医療センターも、医師不足から患者の一部受け入れを制限している状況です。</p> <p>また、県内の厚生連病院で精神科を設置しているところもありますが、医師の確保や採算等が難しく、設置を取りやめた病院もあったと聞いております。</p> <p>このような状況の中、新しく精神科を設置することは難しいと考えておりますので、近隣の新潟市、新発田市等の精神科または、心療内科に受診くださるようお願いいたします。</p>		
担当 民生部 地域医療推進課 地域医療推進係 (内線285)		
件名	④ 防災行政無線について	沖通ふれあいセンター
<p>防災行政無線（同報系）の整備計画については、自治会長向けの説明会を平成25年12月に、市民の皆様には平成26年1月に説明会を開催して、現在、整備工事を進めているところです。</p> <p>ご意見をいただきました千原への防災情報等の伝達（放送）については、天神堂及び沖の館地内に設置する屋外拡声子局から伝達することとしておりますが、改めて説明会をとの要望でありますので、開催に向けて自治会長とご相談させていただきます。</p> <p>また、その運用にあたっては、様々な条件での放送を通じて検証して参ります。</p> <p>なお、防災情報の伝達については、防災行政無線だけに頼るのではなく、複数の手段により伝達することが実行性を確保できると考えており、テレビ・ラジオでの放送、緊急速報メールなどの配信、FM新津の災害時放送（緊急FM告知ラジオ）について、防災行政無線の整備後も継続して運用することとしております。</p>		
担当 総務部 総務課 地域安全係 (内線275)		

件名	⑤ 新病院の救急受入態勢について	沖通ふれあいセンター
<p>水原郷病院では、現在でも昼夜を問わず、かかりつけ医師または担当科の医師が診ることができる状況にある時は、受け入れを行っており、救急搬送受け入れ状況は、平成26年1月～10月で搬送者全体の15%強で推移しております。</p> <p>県立新発田病院は41%を超え、一番多い搬送受け入れ先となっています。</p> <p>現在、水原郷病院は心臓と脳血管及び整形を専門とする常勤医師が不在のため、心筋梗塞や脳梗塞が疑われ、1分1秒を争う場合は、すぐに3次救急病院である県立新発田病院か新潟市民病院、北日本脳外科病院に搬送を行っております。</p> <p>「救急搬送時は一旦、水原郷病院で診てもらい、受け入れられない時は、その後、救急病院に搬送してもらった方が安心だ」とおっしゃる方もおりますが、その数分のために後遺症が残っては、大変なことになりかねません。</p> <p>急ぐ状態の時は、専門の医師がそろった病院にいち早く搬送されることが大前提です。</p> <p>新病院の受け入れ体制も、各診療科の医師がそろい、当直医の人数が整わない限り、以前のような救急告示病院として受け入れを行うことは、難しい状況です。</p> <p>市では、新病院開院時に少しでも多くの医師に来ていただきたいということで、市長はじめ議員の皆さんと、定期的に新潟大学や県に働きかけを行っております。</p> <p>また、厚生連も積極的に県内外の大学病院にお願いに行っており、今年の春からは、少しずつではありますが、新潟大学から外来診療医師の派遣を増員していただいております。</p> <p>これからも、厚生連と協力して医師の増員に努めて参りますので、ご理解をお願いいたします。</p>		
担当 民生部 地域医療推進課 地域医療推進係 (内線288)		
件名	⑥ ごずっちょ商品券について	沖通ふれあいセンター
<p>地域経済の活性化を目的としたごずっちょ商品券は、平成21年度から市内4商工会で組織する「阿賀野市商工業振興協議会」が発行しておりますが、多くの市民が購入できるよう、以下の方法で販売いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発売広報を4回実施</li> <li>・ゴールデンウィーク最終日の5月6日から市内7か所で販売</li> <li>・代理人購入の導入</li> </ul> <p>多くの方から購入いただけるよう十分工夫されていた反面、代理人による数万から数百万円の購入などで一部の方へ多量に販売するケースが発生したことにより、欲しかったにもかかわらず買えなかった方が多くいたことも事実であります。</p> <p>このようなことを踏まえ、次回の商品券発行の際は、今年度の利用状況やアンケート結果、寄せられたご意見等をもとに商工会と協議のうえ、制度の見直しを進めて参りたいと考えております。</p>		
担当 産業建設部 商工観光課 商工振興係 (内線344)		

件名	⑦ 水原中学校市民図書室について	沖通ふれあいセンター
<p>蔵書冊数につきましては、旧水原図書館の蔵書を引き継いでおります。</p> <p>これまでの旧館に比べ、開架スペースは約1.7倍、閲覧スペースも74席となり、より広く、明るい読書環境が確保されました。</p> <p>これにより、空き開架が見受けられる印象かと思っております。</p> <p>蔵書につきましては、今後も市民の必要とする資料の提供が確保できますよう、継続的整備に努めて参りたいと考えております。</p> <p>また、図書室の入口につきましては、案内表示等を図書室内外に適宜掲示して、利用サービスの向上に努めて参ります。</p> <p>参考</p> <p>※収蔵能力（開架書架） 44,500冊</p> <p>蔵書冊数（11月末現在）36,000冊</p>		
<p style="text-align: center;">担当 民生部 生涯学習課 図書館係 67-2500</p>		
件名	⑧ 婚活事業に対する補助金の助成について	若手経営者・後継者の会
<p>「婚活事業」につきましては、市の単独事業として、今年度、結婚・定住につながる出会いの場を提供いたしました。</p> <p>（農業ボランティア婚活事業／平成26年12月20日実施）</p> <p>婚活事業は、少子化対策の一環として実施するもので、結婚・定住・出産・子育てといった各ライフステージに対する支援事業とリンクさせ、切れ目のない支援が必要であると考えております。</p> <p>限られた予算の中で、各ライフステージに対する支援を検討していることから、婚活事業に対する補助金を市として交付する予定は、現段階では考えておりません。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 総務部 市長政策課 企画経営係 （内線261）</p>		